

近畿進交會會報
第76号
令和4年9月20日

しんこう

(題字：植田美夫)

発行人 麻野広行
編集人 大井 孝
大上正通 塚本義久
井原幸治

令和四年度 近畿進交會の集い！

会場：大阪新阪急ホテル 2階 星月の間

(大阪市北区芝田 1-1-35 06-6372-5101)

(JR 大阪駅、阪急・阪神・地下鉄各梅田駅)



開催日：11月12日(土)

受付開始：11時半～

総会・懇親会：12時～15時

(活動報告、市大より近況報告、「福引き」等々)

会費：6,000円(ご家族：5,000円、新卒会員：無料)

※10月10日までに同封葉書で出欠のご返事をお願いします。

*ご欠席の場合でも近況等ぜひご連絡願います。



3年ぶりに「Y校・横浜市大 近畿進交会の集い」を開催します！

「集い」担当三木得生（昭53文）



コロナ禍で2年にわたり開催できませんでしたが、OB・OGの皆さん、お変わりありませんか。

いままたオミクロンのBA.5が猛威を振るっておりますが、進交会「集い」は秋に開催すべく準備を進めています。

11月12日（土）大阪新阪急ホテル2階

12時開会 15時終了

会費 6000円 新卒者は無料

ホテル側とも協議し、万全の感染対策をとって準備いたします。

料理は個別にサーブし、感染防止パネルも設置するなどの対策をとりつつ、じっくりと懇親・交流を深めていただけるような運営を心がけて参ります。恒例の「福引き」も準備しております。

ただ緊急事態宣言等が発出された場合等は開催を中止することもございます。

その場合、出席の返信を頂いた皆様には、ご記入の緊急連絡先まで連絡致します。

昨年から今年に「還暦」を迎えられた方々へ 麻野広行（昭50商 檀原市）



コロナ禍の中、やむなく「近畿進交会の集い」開催が2年続けて中止となりましたが、今年度こそ2022年11月12日の「集い」及び総会が実施される事を願っております。

さて、還暦を迎えられた方々はY校や横浜市大を卒業され社会人となり、様々な人生を送ってこられたことでしょうか。まだ人生半ばですが、この区切りで、同窓の仲間と懇親することで、当時の友や風景を思い浮かべ、横浜での学生時代を振り返ってみるのはいかがでしょうか。

もしかしたら「近畿進交会の集い」へ参加してみても、同期の方々と巡り合えるかもしれません。直接の知り合いでなくとも、同じ学部、サークル、ゼミの先輩や後輩と話しをするのもいい機会だと思います。そして、次の日から、新たな気持ちでスタートするというのはいかがですか。幹事一同、皆様方の参加をお待ちしております。

なお、古希を迎えました私が、丹精を込めて作った新米を「還暦を迎えられた方々」にプレゼントしたいと思います。ご参加よろしく申し上げます。

近畿進交会サークル活動（令和4年度）

「ゴルフ同好会」のご案内

春の「ゴルフ同好会」は、4月21日（木）9時より茨木国際ゴルフ倶楽部にて実施しました。70歳以上の高齢者ばかりで、メンバーも固定的です。

以前は、参加者が多く4組や5組でダブルペリ

ア方式にて優勝カップと1位・2位・3位賞やブービー賞やニアピン賞の争奪を巡り盛況でした。昨今は男子より女子ゴルフの方が盛況で、スポンサーもマスコミも男女逆転現象とタイガーウッズ世代には少し寂しい限りです。

退職されてゴルフの経験がある方、運動不足の方、ゴルフが趣味で時間的に余裕がある方は、是非とも参加をお待ちしております。紳士的で友好的な仲間と「満足な一日」を味わえると思います。

秋の「ゴルフ同好会」は、10月13日（木）9時より茨木国際ゴルフ倶楽部にて実施します。たくさんの方々の参加をお待ちしております。

なお、ご参加はメールにて受け付けておりますのでよろしく申し上げます。世話人は、城島様と植田様。そしてサブの麻野も控えております。



「歩こう会」第1回実施報告とご案内

春の「歩こう会」は、5月21日（土）13時近鉄檀原線西ノ京駅集合にて実施しました。当日は雨模様の予報でしたが、さいわい最後まで曇り空の中を薬師寺から唐招提寺をめぐり8,000歩以上楽しく歩くことが出来ました。

薬師寺は、法相宗大本山で680年天武天皇により発願、697年持統天皇により本尊開眼、その後718年に飛鳥から現在の地に移されました。1967年高田好胤管主により、寄付ではなく、写経勸進による白鳳伽藍の復興が発願され金堂・西塔・大講

堂・中門・回廊・食堂が再建されました。

私達は東院堂から中門を経て東塔・西塔・金堂・大講堂・食堂・西僧坊と見学し薬師三尊像（薬師如来・日光菩薩・月光菩薩）に手を合わせました。

西僧坊では国宝東塔の水煙を見ることが出来ました。また、玄奘三蔵院伽藍では平山郁夫画伯の「大唐西域壁画」7場面を観賞することが出来ました。

唐招提寺は律宗総本山として759年唐の高僧鑑真大和上により、聖武天皇の願いに応じて来朝を決意されて戒律を学ぶ道場として創建されました。井上靖の名作「天平の甕」にもあるように、五度の失敗にも屈することなく来日して我が国に戒律を伝え大和上の称号を賜りました。金堂は、代表的な天平建築で本尊・盧舎那仏坐像は宇宙の中心、釈迦の本地仏として中尊に、その東方に現生の苦悩を救済する薬師如来立像、西方に理想の未来へ導く十一面千手観世音菩薩立像が配されています。講堂には本尊弥勒如来坐像が持国・増長の二点と共に配されています。



お庭を散策しながら、戒壇・鼓楼・礼堂・東室など見学し、最後に鑑真和上御廟で手を合わせてきました。

秋の「歩こう会」は下記のように予定していますので宜しくお願い致します。

日時：10月22日（土） 13：30～16：30
集合：JR 天満駅改札口前 13：30
テーマ：大塩平八郎ゆかりの天満を歩く
持参：帽子、飲料水、マスク、歩きやすい靴・服装
主なコース：天満駅→成正寺→天満の寺町→大塩の乱「槐」跡→造幣博物館→与力役宅門→洗心洞跡→大阪天満宮→南森町（解散）

たくさんのご参加をお待ちしております。なお、

サークル活動のご参加はメールにて受け付けております。世話人：麻野広行 内田顧問

「落語を聴く会」の報告とご案内

サークル活動の「落語を聴く会」は、6月17日（金）天満天神繁昌亭に笑福亭松枝師匠を訪ねました。昼席公演にて、桂文路郎・桂咲之輔・桂出丸・腹話術千田やすし・桂勢朝・桂三若・津軽三味線来世楽、そしてトリが笑福亭松枝師匠でした。

繁昌亭は、地下鉄南森町駅から天神橋筋を南へ5分程の所で天満天神宮の中にあり、桂文枝さん他が中心となって開演し16年目を迎えております。今では落語家の活躍できる場所として有名です。



笑福亭松枝師匠は、幹事の竹田さんと同級生（高校時代）で公演の後、和気あいあいとビールで乾杯しました。そして、サークル活動「落語を聴く会」のアドバイザーになって頂くことに快諾を得ました。また、リーズナブルな価格にて「集い」での公演も可能です。

また笑福亭松枝師匠の招待にて、「道修町たなみん寄席」にお邪魔しました。「たなみん」は、ふわふわの真っ白な毛に覆われた大きな手を持つ妖精で、田辺三菱製薬のキャラクターです。



「たなみん寄席」は、年2回開催され今回で第11回を重ね「大阪・船場、くすりの町の落語会」としてYouTubeチャンネルもあります。7月2日

（土）14時～16時田辺三菱製薬株式会社本社3階にて定員150名で「落語のネタも信心から」と題して催されました。私達には関係者席が用意され、前から7列目で落語を楽しみました。出演者は、桂あおば・笑福亭生喬・高島幸次（公演）そしてトリで笑福亭松枝師匠でした。

庶民の文化・風俗が色濃く反映されている古典

落語では、当時の民間信仰やその中に出てくる神社のお話を楽しめます。帰りに少彦名神社(神農さん)にお参りし穢れを払いました。

次回「落語を聴く会」は、秋を予定しております。日程が決まり次第、案内させていただきます。

※サークル活動に参加を希望される方の連絡先

麻野メール：asano3300ha@yahoo.co.jp

テニスと私 (足ニスの遺産)

植田美夫 (昭 34 商)

テニスを始めたのは中学 1 年で、当初は軟式テニスでした。本格的にテニス(硬式)をやり始めたのは大阪府立住吉高校へ入学してからです。



テニスは手ニスではなく足ニスであると教えられ、入部当初はひたすら「走れ、走れ」の連続、阿倍野神社の階段の昇り降り、校舎の周囲を 2 周・3 周、漸くコートへ入ると 1 年生はボール拾いと終ってからのローラーかけ、ボールを打たせてもらうのは 5 球程度、しかし土曜日(本校は土曜休日の 5 日制)か日曜日に練習に行くと、先輩から優しく指導して戴き、少しボールを打つ機会をいただいた。しかし何度も退部しようと思ったが、それを思い留まらせたのが府下新人戦で 3 位に入賞したことだ。それ以来勉学はそっこのけでひたすら足ニス漬けの毎日が続いた。

高校時代の戦績は府下の高校大会 3 位入賞が最高で、関西高校・全日本高校と試合には出場しましたが、良き成績は残せませんでした。

大学に入ってから足ニスの教えは守り続け、特に冬のシーズンオフには陸上競技部に仲間入りしてひたすら走り続けた。

大学での主な戦績は横浜市民大会単複優勝(複は 2 年連続優勝)横浜市代表として都市対抗戦に出場、団体戦では関東甲信越大会 4 連覇に貢献する(1 年生から単複共全試合に出場し 4 年間無敗一永久に残



る記録)

社会人になりテニス仲間もなくテニスをばったりと止めていましたが、会社退任後、JASS(セカンドライフ協会)のテニスに参加したことがきっかけとなり、芦屋国際ローンテニスクラブ所属の方々と知り合うようになりました。

しかし全く遊びのテニスで時には誘われるままにミックスダブルス中心に近郊の 1 日大会に出場してはウサ晴らしをしていました。本格的に全国大会に出場するようになったのは 2 年前からで関西オープンを手始めに毎日オープンのダブルス 80 歳以上の部に出場しました。

高校時代から鍛えた足ニスの遺産だけは健在で毎日オープンでは準決勝で NO.1 シードを 2 時間余りの熱戦の末見事逆転勝利し、優勝戦は NO.2 シードをストレートで降し、初出場の無名のペアで見事優勝しました。

毎日オープンという最も歴史のある大会(今年第 92 回大会)で優勝出来るなど夢にも思っていませんでしたが、この優勝が全国区に名乗りを挙げた瞬間でした。

昨年は奈良まほろばオープンで優勝・関西オープン・兵庫オープン準優勝で 80 歳以上の部の全日本ランキングが 6 位に上がり、全日本大会に出場の栄に浴しましたが、ベスト 8 止まりでした。

今年に入り 85 歳になりましたので、85 歳以上の部ダブルスに出場、4 月の毎日オープン見事優勝(80 歳以上と 85 歳以上 2 連覇)、6 月には名古屋へ遠征し東海中日選手権でまたまた優勝と 85 歳なるも今尚足ニスの遺産は健在です。

今年に正にチャンス到来、10 月に行われる全日本大会のチャンピオン目指して精進して参りたいと思っています。尚、現在のダブルスのパートナーは倉橋正男選手(芦屋国際ローンテニスクラブ所属)です。

写真は、毎日オープンテニス選手権表彰式後の倉橋選手(右)と筆者です。



大井 孝 (昭50商)



平成元年に浜大祭に参加する機会があり、自動車部のOB会にも出席させていただいた。その折に、「バックミラー」という部誌が有志の方のご尽力で、復刻されディスク保存されることとなった。昭和38年から昭和60年までの年一回の発行分(数年欠号あり)と春夏休暇時の全国遠征旅行の記録の発行分が当時のガリ版刷りで残されており、非常に貴重なものと考えている。

その中から、恥ずかしながら小生の部分を披歴差し上げようと思う。まずは、昭和46年の商学部1年時の分を引用したいと思う。

商1 大井孝 (鶴岡南高校)

少なくとも今までは、およそ機械には縁遠い男だった。兄はあんなに好きなのに……。自主性のない話だが、自動車部に入ったきっかけは、友達が入部するのについて回り、何となく面白そうに感じたのであった。免許を手に入れたという欲求も心の底にかすかにあった。先輩も

気のおけない人達(?)で、今ではクラブ活動が面白くてしょうがない。



特に、同じ問題を皆んなでだべり合いながら解くのが何とも言えない。市大に入学した当時は、クラブは絶対入るまいと誓っていたんだが、あの調子だったら後で非常に悔やむことだったろう。

一年は、自己紹介も、ということだったのでこし付け加えよう。遙か北の山形から出てきた。といっても内気でまじめではない。予備校回りの一浪で少々すれている。山形県立鶴岡南高校を出て、浪人を覚悟で上京、志望校は予想通り失敗、必死で駿台に入学、実力派さほど伸びず、やっとの思いで今年市大に入れた。見た所、一浪には見えない。かなり童顔なのだそうだ。デハ、失礼。



日時：令和4年5月28日(土) 13:30~15:30

場所：インスジョールーム

出席：麻野 三木 川戸 大井 塚本 田邊 井原 内田 牧 竹田

書面：植田 森岡 古内 大上

1. 新役員体制の確認と「近畿進交會会則」の改定案について

会の口座管理の必要から、会則を次のとおり変更します。(承認)

第3条 この会の事務局を事務局長宅に置く⇒
第3条 この会の所在地を事務局長宅に置くに変更します。

2. 令和4年度「集い」と総会について

・今年度は是非開催したい。日程は次の通り。

日時：令和4年11月12日(土) 12時~15時
場所：大阪新阪急ホテル月の間または星月の間 (人数による)

総会：近畿進交會会則改定案・事業報告・決算報告の承認、サークル活動案内

・以下、三木副会長からの報告と幹事会決議案による。

(1) ホテルとの確認内容

- ・緊急事態宣言下であれば8/15までは原則キャンセルOK。
- ・費用は同窓会プラン1人8,500円(税込)であるが、会費を6,000円とし、差額は会計より補填。
- ・感染防止対策として、料理は個別にサーブ(大皿盛は無い)、フリードリンク、感染防止パネル等。
- ・機材はプロジェクター・スクリーン無料。(パソコンは持ち込み必要)
- ・集合写真込み(懇親会前に撮れば解散時に全員に配布できる)

(2) 「集い」の内容

・コロナ感染などの問題もあり、落語、講談などの催しは見送り。

・全体の時間設定(令和元年度の集いと同様)

第1部 総会 12:00-13:00

12:00 事業報告・会計報告、役員紹介
12:30 来賓あいさつ

第2部 懇親会 13:00-15:00

(二次会 15:30-)

- ・司会進行役は田邊幹事
- ・総会の部 会長あいさつ、会計報告(川戸)、事業報告(塚本)、会則改定(塚本)
- ・来賓あいさつ 進交會・横浜市大事務局等からの出席があり、20分程度時間をとる。
- ・懇親会 懇親会では、新規参加者のフォローアッ

プ（「ぼつんと一人」にしない）。皆様からの一言を頂く。

- ・福引きは入場時引換券を渡すなど方法考える。（商品は主に三木副会長に無料で依頼）

（3）参加目標と参加促進

- ・前は 40 名足らずの状況となっており、50 名以上の参加者を目標とする
- ・幹事の皆様からの個別対応や、「しんこう」76 号への参加呼びかけ記事掲載
- ・会員の勧誘の一つは年度別の横の連絡を作り、そのまま「集い」に誘導する。又は年度別に出席依頼のハガキを出す等（「集い」に出席しようとした時にどんな人が来ているのか、大変心配になるものです。同期の連中が来ることが分れば自分も出席してみようかなと思うものです。）
- ・知り合いがいないことなど、単独で参加するのはハードルが高いのではないかな。
- ・勧誘して参加していただいた人には集い当日に一人にしない配慮が必要。

3. 進交会本部及び横浜市大同窓会との連携検討

（1）市大100周年（2028年）に向けて

- ・大学当局からは寄付の呼びかけはある。
- ・どのような組織で動いているのか、横浜市大同窓会、進交会本部などがはっきり理解している人はどれだけいるか。周知が必要では。
- ・具体的な提案・検討はなく持ち越し

4. 「しんこう」76号の発行

（1）発行時期（9/20頃）と原稿予定及び編集会議について（集いの開催案内、出欠はがき）

- ・76号発行時期を9/15とし、同封の出欠ハガキの締め切りを10/10とする。
- ・7/25（月）までに原稿締め切り、8/6（土）に編集会議を実施予定
- ・「集い」中心として、参加呼びかけ記事・サークル活動の報告・幹事会議事録納入者リスト・保険コラム他とする。
- ・役員は各自400字以上を目標として、集いへの参加勧誘の原稿を書く。
- ・運営会費振込用紙を続けて同封すると誤って2回納付されることにならないか。
- ・事務局からサラトに連絡をして機関紙発行時点での納入済み者には同封しない。

（2）「集い」ハガキの通信欄の活用（サークル活動への勧誘他）

- ・ハガキの通信欄にサークル活動の紹介を兼ねてアンケートを記載する。

5. 近畿進交会会員の勧誘・年度幹事の増員：具体的な戦略

（1）「集い」の新規参加者へのアプローチ（幹事への勧誘）

- ・サークル活動の参加者からの紹介、「集い」新規参加者の年度幹事への勧誘
- ・進交会本部との情報交換や、HPの支部活動への「しんこう」掲載
- ・年度幹事候補者に時間をかけて、こまめに電話戦略で口説き落とす以外にはない。
- ・これからを左右する取り組みであり、地道でかつ大胆な対策が必要であるが、一方で幹事に関して、身近な先輩や後輩に声をかけてもなかなかいい返事がもらえないという現状もある。

（2）女性ウェイトの増加に伴う女性向け対策の検討

- ・女性主体の活動づくり等が必要であるが、具体的な提案はなく持ち越し。

（3）「集い」の新規参加者の挨拶を掲載する等内容充実を図る

- ・「しんこう」を介した記事の工夫などが必要。
- ・具体的な提案・検討はなく持ち越し。

6. サークル活動について

（1）推進者の設定

- ・ゴルフ会（植田）、落語（牧）、歩こう会（麻野）
- ・各会の活動予定をさしあたり「しんこう」に掲載

（2）活動報告と今後の予定

- ・歩こう会は5月21日（土）に第1回目を開催。参加者は少なかったが、充実した企画だったと思う。次回は「大塩平八郎の事跡を訪ねる」をテーマに天満を中心に計画。
- ・ゴルフ会は10月13日（木）於 茨木国際ゴルフ倶楽部
- ・落語の会もまずは幹事を中心に活動開始を図る。
- ・日程が合えば参加したい行事です。こういったところから会員、幹事の勧誘につながればと思う。

7. 令和4年度の幹事会及び編集会議

（1）幹事会

- ・8月20日（土）2時インスショールームにて：「集い」の具体的な内容
- ・10月15日（土）2時インスショールームにて：「集い」参加者状況への対応

（2）編集会議

- ・8月6日（土）開催方式は検討



令和4年5月28日

令和3年度会計報告

(R3. 4. 1~R4. 3. 31)

会計 川戸 眞吾



1. 一般会計(単位:円)

(1) 収入の部

摘要	金額	備考
前年度繰越	596,257	
運営会費	307,000	101人(内5,000円2人)
雑収入	0	
受取利息	90	
合計	903,347	

(2) 支出の部

摘要	金額	備考
会報	198,239	会報 73号、74号
会議費	15,860	
通信費		
総会関係費	0	
総会補助金		
平成会補助	0	
事務経費	50,000	
雑費	9,415	
合計	273,514	

(3) 次年度繰越 629,833

内訳1	経常収支繰越	629,833
	平成28年度以降前受金	0
内訳2	郵便貯金普通口座	620,833
	貯金センター原口座	9,000
	手許現金	0

2. 年次総会特別会計

収入	支出
合計	0

以上

監査の結果、正しく決算されていると認めます。

会計監査

竹田 博



会員異動・お便り

矢口照夫	昭 29 Y校	ご逝去	野口幹生	昭 34 商学部	ご逝去
安宅政弘	昭 50 文理学部	ご逝去			
横井資昌	昭 32 文理学部	転居先不明	中島裕子	昭 52 文理学部	転居先不明
酒井鋭昭	昭 54 文理学部	転居先不明	田井中春美	昭 62 Y校	転居先不明
村上敬子	平 3 文理学部	転居先不明	橋本勇亮	平 24 国際総合科学部	転居先不明

伊東祐一郎 昭 37 文理学部 今期末を以て退会(長年にわたる会へのご協力、本当に有難うございました。)

令和 4 年度 運営会費 納入者ご芳名(令和 4.7.26 現在)

Y 校

昭 35 内田正雄 昭 38 霧生昭 酒瀬川裕 昭 55 井原幸治

商学部

昭 33 押村忠男 木村勝彦 関敏光 昭 34 植田美夫 昭 35 戸田丈夫 中島裕 昭 36 安積文男 大嶋進治
小野甫夫 坂上晋太 野口實 昭 37 板倉光一 出射靖郎 高木敏幸 十時弘 昭 39 阪口龍二 鈴木剛夫
中原悠司 昭 40 岡崎俊太郎 小林博 坂原修二 富田俊三 日隈中 松田至弘 昭 42 霧生昭(再掲)
昭 43 菅英伸 廣内禎介 昭 44 城島護彦 全在紋 富田一弘 昭 45 三善慎一 昭 46 岡崎智 竹内邦彦
森岡章 森山茂 昭 47 清水薫 加藤俊勝 昭 49 竹田博 昭 50 麻野広行 大井孝 昭 51 内山隆夫
昭 52 川戸眞吾 昭 56 辻内敏恵 昭 57 水口隆則 昭 58 塚本義久 昭 60 及川史郎 昭 62 浅香辰也
平 17 松嶋宣樹

文理学部

昭 36 原洋志 昭 37 伊東祐一郎 中村利寿 竹山喜盛 昭 39 柿花和夫 昭 40 青柳秀光 昭 41 奥村忠道
昭 42 小林光雄 昭 46 森田浩一 昭 51 田邊俊二 昭 56 大上正通 昭 58 細野眞嗣 昭 63 佐々木亞以子
平 7 古内秀樹 杉野利幸

医学部

昭 38 津田義則 昭 40 山本利美雄 昭 45 安武建二 昭 51 牧一郎 平 17 福本毅

・ご協力ありがとうございました。(合計 71 名)

「運営会費」納入のお願い

近畿進交会の 2022 年度「運営会費 3,000 円」を同封の郵便局「払込取扱票」にてお振込みしていただきますよう、お願い申し上げます。(本部からの「進交会報」とは、別途のご案内となっております。)

～2021 年度も「集い」の開催が無く、会費納入者は 101 名という結果でした。

近畿進交会の活動を継続していくために、会員皆様の積極的納入をよろしくお願い申し上げます。～

編集便り

機関誌「しんこう」は会員の皆さまのご協力で編纂しております。「日頃思っていること」、「わが町の自慢話」、「学生時代の思い出」「趣味・娯楽に関すること」等、なんでも結構ですので、気軽に投稿してみてください。原稿は、下記編集子までメール送付してください。

大井宛 携帯：090-1021-7574 MAIL: taka236428@kcn.jp

大上宛 携帯：090-3708-8674 MAIL: masamichi.oue.0001@gmail.com

井原宛 携帯：080-4233-1013 MAIL: iharak@hb.tp1.jp

なお、郵送の場合は、下記住所あてお送りください。

〒610-0343 京都府京田辺市 大住仲ノ谷 2-1 2

大井 孝 宛